指導案③

**地震防災　学習指導案**

年　月　日（　）第　校時

小学校中学年

児童数　　　名

場所　　　教室

指導者

**１　題材名**　「何をもって避難する？（非常持ち出し袋）」

**２　題材について**

（１）児童の実態

（小学校の立地、児童の人数、特徴などを書く。）

　（２）題材設定の理由

　　　地震防災の学習は以下の内容を基本とする。

* ハザードの理解（なぜ地震が発生するのか）
* 地震への備え（ハードとソフト）
* 地震発生時の対応（直後の身を守る方法から避難、救出・救助、支援、避難所生活など）

地震発生後、しばらくの間、自宅を離れて避難所で生活することもある。食糧・水などの必需品が不足する中での不便な生活も考えられる。非常持ち出し袋に何を入れていくかを考えさせ、家族と話あわせて、実際に準備させることは、災害時の避難生活で役立つ。

**３　評価規準**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 集団活動や生活への関心・意欲・態度 | 集団の一員としての思考・判断・実践 | 集団活動や生活についての知識・理解 |
| 評価規準 | 自己の身の回りの問題に関心を持ち、進んで日常の生活や学習に取り組もうとしている。 | 小学校での生活を楽しくするために、日常生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。 | 小学校での生活を楽しくすることの大切さ、そのための基本的な生活や学習の仕方などについて理解している。 |

**４　事前の指導**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 児童の活動 | 指導上の留意点 | 目指す児童の姿と評価方法 |
|  |  |  |

**５　本時のねらい**

　地震後の避難生活に備えて、必要なものを考え準備できるようにする。

**６　本時の展開**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 児童の活動 | 指導上の留意点 | 目指すこどもの姿と評価方法 |
| 導入 | 　昨日、朝起きてから寝るまでの一日で使ったものを考えて書き出す。 | 　時系列に沿って日常に使っているものを書き出させる。 | 　自分の一日の生活を正しく振り返って、使っているものを書き出すことができているか。 |
| 展開 | 　書き出したものが使えなくなったらどんな不便が発生するかを考えて書き出す。 | 「もし、毎日使っているものが使えなくなったらどうしますか」と聞き、子供たちの考えを引き出す。 | 　毎日使っているものが使えなくなる状況をリアルに想像し、どうなるかを考えようとしているか。 |
| 　「非常持ち出し袋」に入れておきたい5つのものを考える。　それを発表し、理由を説明する。　次の5つを考える。　それを発表し、理由を説明する。 | 災害時には普段使えるものが使えなくなることを話し、「非常持ち出し袋」に入れておいて災害時に持ち出す方法があることを伝える。「非常持ち出し袋」に何を入れておけばいいかを考えさせ、話し合わせる。あまり多くなりすぎないように、はじめは5つ、次に5つで合計10個程度にとどめる。数人に発表させ、理由も言わせる。 | 　自分の日常の生活に沿って必要なものを考えているか。　家族には高齢者や乳幼児がいるかもしれない。それらの家族のことを念頭に入れて考えているか。 |
| 　自分は選ばないが、他の人が選んだものについてもノートに書き写す。 | 　こどもたちの発表を黒板に書いていく（事前に準備した絵と文字のカードでもよい）。 | 　他の人の考えを尊重して聞けているか。 |
| まとめ | 　３日分の食料、水の量を考える。 | 持ち出し袋に入れる水・食料などは最低３日分必要であることを教え、その量を考えさせる。 | 　自分の日常の生活を顧みて、三日分の水・食料の量を考えているか。 |
| 　「非常持ち出し袋」に入れるものには「すべての人に共通して必要なもの」と「私（の家族）には必要なもの」があることを理解する。 | 黒板に書き出した（貼り出した）ものを「すべての人に共通して必要なもの」と「私（の家族）には必要なもの」に分ける。 | 　自分と家族にとって固有の持ち出し品が大切であることを理解しているか。 |

７　事後の指導

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 児童の活動 | 指導上の留意点 | 目指す児童の姿と評価方法 |
| 地震に備えて家族で何を準備しておくかを話し合う。「４つの危ない」について考え、どう備えればいいかを相談する。 | 　家族で話し合った内容を発表させる。話し合いができていないこどももいるかもしれないので配慮する。家族との話し合いでは、「備え」が大切であることに気づかせる。 | ４つの危ないに沿って話し合いをしているか。「備え」の大切さに気付いているか。家族に必要なものを具体的にリストアップしているか。 |

以上